

【授業科目】看護政策論 Nursing Policy

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
東川薫、多次淳一郎	1年次後期	選択	1	15	講義	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方)及び 課題に対する フィードバック 方法	わが国の看護制度や保健・医療・看護政策の変遷を学び、併せて戦後の保健師助産師看護師法の成立過程を考え、その後の法律や看護諸政策・施策の改正等のプロセスを理解する。また、看護政策決定過程と関連諸団体との連携・協働のあり方について学ぶ。さらに地方行政レベルの看護政策をめぐる諸課題、政策決定過程への看護職者の関与のあり方を理解し、看護政策・施策の事業化の企画・評価、プレゼンテーション等、一連の作業過程を演習等で具体的に学び、看護政策・施策の事業化の企画・評価が実践できる基礎能力を養う。 課題に対するフィードバック方法/提出された課題について、全体の総評コメントを資料にて講義中に公開する。					
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー③、④の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護政策の変遷から、看護政策の意義や制度について述べるができる。</li> <li>2. 看護政策決定過程と関連諸団体の連携・協働のあり方について述べるができる。</li> <li>3. 看護政策過程において必要な能力について習得できる。</li> <li>4. 看護政策の課題を明らかにするとともに、看護政策について看護職者の関与のあり方について説明できる。</li> </ol>					
時間外学習 に必要な 内容・時間	<p>事前学習：授業内容についてディスカッションできるように調べておく。課題についてプレゼンテーションができるよう準備しておく。(各2時間)</p> <p>事後学習：授業での討議内容をまとめ、看護政策・施策について学修を深める。(各2時間)</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>					
授業計画	<p>第1回 看護政策の意義、制度 わが国の看護制度や保健・医療・看護政策の変遷から、看護政策の意義や制度を理解する。</p> <p>第2回 看護政策の概念、策定過程 保健師助産師看護師法を例に成立過程、その後の法律や看護諸政策・施策の改正等について理解する。</p> <p>第3～4回 地方行政レベルにおける保健・医療・福祉行政の実際 身近な地方行政レベルにおける保健・医療・福祉行政について理解するとともに、課題、政策決定過程のあり方について考察する。</p> <p>第5回 医療制度における看護政策の現状と課題 看護職者が最も多く就労している医療に影響を及ぼす法令や政策について理解する。</p> <p>第6回 看護政策・施策に必要な能力 看護政策・施策に必要な能力である事業化の企画・評価、プレゼンテーション等の能力について具体的に学ぶ。</p> <p>第7回 看護政策の課題と看護職者の関与のあり方 これまでの講義、討議とおして、看護政策の課題と看護職者の関与のあり方について考察する。</p> <p>第8回 まとめ</p>					東川、 多次  多次  多次  多次  多次  多次
評価方法 評価基準	参加状況(20%) プレゼンテーション(80%)					
教科書	なし		参考書等	適時紹介する		